

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.2 平成29年6月22日

発行：秋田県立聴覚支援学校内 きこえとことば支援センター

南の交流会 6月15日（木）大仙市大曲交流センターに県南地区の小学校から児童9人とその保護者、学級担任が集まり交流会が行われました。はじめて会うお友達もいて、緊張した様子で始まりましたが、それぞれの学校で考えてきたレクリエーションで体をいっぱい動かして楽しみました。（参加者児童9名：1年生1名、2年生6名、3年生1名、6年生1名）

「聞こえにくい仲間」の存在は、非常に心強いものと言われています。本校でも7月29日（土）に難聴児童生徒交流会を開催します。県北、中央、県南の各地から一同に集まりますので、ぜひ、ご参加ください。



難聴児童生徒交流会

日 時：7月29日（土）10：00～12：00 ※午後は補聴相談会（希望者のみ）

場 所：県立聴覚支援学校（秋田市上北手）

対 象：県内小学校・中学校・特別支援学校在籍の難聴児童生徒

内 容：子ども（レクリエーション、自由遊び）／保護者・担任（難聴疑似体験、懇談会）

難聴理解学習・職員研修 今年度も聴覚支援学校のセンター的機能の取組の一つとして難聴理解学習や職員研修などへの支援を行っています。年度初めから連絡をいただき、現在県内の小学校、中学校、高校で職員研修を8校、難聴理解学習を6校で実施しています。本校の職員が実際に授業を行う他に、難聴学級の担当の先生が授業を行う場合の指導内容の相談、教材教具の貸し出しなど、様々な形で協力をしています。気軽にご連絡ください。

※昨年度末に本校で作成した『難聴理解学習ガイド』をご活用ください。

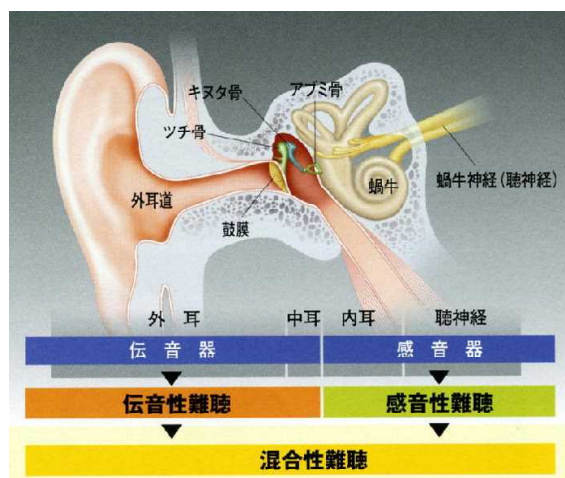
今回の「でんでんくん」では、今年度4月から6月までに各校から質問や相談のあった内容や職員研修でお伝えした内容からいくつかピックアップして情報をお伝えします。

◆聴覚障害について◆

〈伝音性難聴〉外耳から中耳にかけての障害が原因です。医学的な治療が可能とされています。また、補聴器等で音を増幅することで、音を判別できるようになることが多いです。

〈感音性難聴〉内耳や蝸牛神経など感音器の障害が原因です。一般的に医学的な治療は困難で、伝音系の難聴とは区別されます。音の聞き分けが困難なことが多く、補聴器等で音を増幅しても明瞭に聞こえるわけではありません。聞こえ方は障害の程度や状況にもよって様々ですが、軽度～中等度の障害の人でも子音の聞き間違い、母音の混同が起こります。

〈混合性難聴〉伝音性難聴と感音性難聴が混在しているもので、実際にはこのタイプの難聴は少なくありません。補聴器が役立つことが多いです。



～ワイデックス株式会社「みみから。」より～

「難聴」「聞こえない」ってどんなこと？

- ・周りの人に聞こえる音が、すべて聞こえるわけではない。
- ・言葉を聞き間違えて、別の意味に理解してしまう。
- ・騒がしい音環境では聞き取りが落ちる。
- ・音源の方向・距離がわかりにくい。
- ・早口で話しかけられたり、ボソボソとした小声はよく聞き取れない。
- ・不意に話しかけられたり、話題が急に変わったり、複数の人で会話するときや、初対面の人との会話でも聞き取りにくくなる。

～「教室における聞こえへの配慮」日本教育オーディオロジー研究会 編より～

補聴器や人工内耳を装用している人とのコミュニケーションでの配慮

- ・正面から話しかけるようにしましょう。(集団での話し合いでは、話し始めの合図があると分かりやすいです。)
- ・口元(口形)を見せて話しましょう。はっきりと、適度な大きさの声で話しましょう。
- ・話す速さに気をつけましょう。(文節で区切ると分かりやすいです。)
- ・大事な連絡などは、書いて伝えることも工夫の一つです。
- ・書いて伝える、ジェスチャーや手話をつけて伝えるなどの、状況や相手の実態に応じた支援も大切です。

◆授業における配慮点◆

聞こえにくい児童生徒には、授業において様々な困難があります。聞こえの程度や必要な支援も個々に違いがありますが、それぞれの困難を解決する手がかりとして、次のような授業における支援や配慮点がありますので、参考にしてみてください。

音楽

- 歌唱では、音程の正確さを求めるよりも、フレーズの流れを感じ取り楽しく歌うことを大切にしましょう。歌う位置は、他の子どもの歌う様子や口の見える場所にしましょう。
- 楽譜や歌詞を拡大し、指示棒で示したり、「出だし」の合図を送ったりして練習するようにしましょう。隣の子ともと向かい合って歌ったり、合奏したりすることも効果的です。
- リコーダーは、指先のわずかな加減で音程が変わるため、合奏しにくい楽器です。カスタネットやトライアングルなども、音が短く高音のためきき取りにくくなります。鍵盤ハーモニカやマリンバ、ハンドベルなどは、目で確認できるため、比較的演奏しやすい楽器です。
- 大きな音の出る打楽器の近くは避けるようにしましょう。また、合奏の音が大きい場合、補聴器や人工内耳外部装置のボリュームを下げるように指導しましょう。

体育・保健体育

- 水泳の時は補聴器や人工内耳の外部装置を外します。外したものは「…に入れて…に置く」ことを確認するようにしましょう。プールサイドでは先生の指示がきこえないため、事前に活動を伝えたり、小さいホワイトボードを準備したり、モデルを示したりするとよいでしょう。
- 体育館やグラウンドは雑音が多く、きき取りにくくなります。説明や指示は子どもの前から行い、モデルや絵などを使うようにしましょう。合図は、ホイッスルだけでなく、小旗や太鼓、手を打つなど、目で確認できるようにしましょう。なお、一番前よりも全体の様子が分かる少し後ろに整列する方が、状況を把握しやすくなります。

外国語（英語）

- CDの音声はうまくきき取れません。リスニングは肉声で、口をはっきりと見せるようにしましょう。また、表情や動作を加え、トータルに理解できるようにするとよいでしょう。DVDなどを用いて、画像による手がかりを多くすることも効果的です。また予習の中で、内容の手がかりをつかんでおくように指導することも大切です。
- リーディングは、カタカナや発音記号を見ながら行うことも一つの方法です。その時、強く発音する箇所（ストレス）に、印を付けるとよいでしょう。予習の中では、初めての単語の発音を調べておくことなどの指導も大切です。
- 英単語は、カタカナや発音記号で発音を確認しながら、音と文字の対応を考えながらリズムで覚えるとよいでしょう。口に出し、書くことが大切です。

(難聴児童生徒の)

◆発音指導について◆

「サ行がうまく発音できません。どうしたらいいのでしょうか？」という相談をよく伺います。



★ 実はサ行以外も★

そのようなお子さんは、実は他の音(「ち」「ひ」等)も難しかったり、「～します」の『ま』の口形が不自然だったり、声の出し方そのものが安定していなかったりしていることがあります。しかし、聞く側にはサ行だけが印象に残るようです。

★ 発音を直す、ということは・・・★

例えば、秋田弁の発音を直そうとします。そのためには、本人の意識や回数、時間など、たくさんの方が必要だと想像できますよね。発音は、特定の場に行ったときだけ練習するのではなく、**日々、気づいた時に、気づいた人が、さりと、短時間行うこと**が大切です。数回ですぐに直るというものではありません。

★ どうやってやったらいいか ★ 「さいふ」の『さ』がうまく出ない場合の一例

☆もう一度言うように求め、どのような言い方になっているのか確認する。

「もう一度(「さいふ」と)言ってみてください。」

☆母音(あいうえお)の同じ口形の音を使って練習する(さ:あ/す:う/そ:お等)。

『さ』の口形は『あ』になりますね。」

『あ』 『さ』 と行ってみて。 『さ』 『あ』 と行ってみて。」

『あ —— さ —— 』とつなげて言えますか。」

『さい』 『あい』 と行ってみて。」 等々。

☆元のことばをもう一度取り上げる。

「もう一度、「さいふ」と言ってみましょう。」

最後にもう一度、元のことばに戻すことが大切です。

一度だけで直らなくても、すぐには直らなくても、意識を向けることが大切です。

このような言い直しで1～2分。**くどく、長くしないこと**です。

★ 最後に必ず褒めましょう!★

「前よりはっきり聞こえましたよ」「練習したらよくなりましたね」「伝わりやすくなりましたね」。もし、その時に直らなかつたとしても「言い方が意識できてきましたよ」「また続けてみよう」等、掛けることばはたくさんありますよね。「やっぱり出ないね」「変わらないな」等の否定的な言い方は厳禁です。発音の仕方だけでなく、気持ちや意欲を育てたいものです。

財布の「さ」は、指導のほんの一例です。これが「さ」の指導の全てではありません。

個々のお子さんの実態で異なりますので

～ **どんなことでも、いつでもお電話 & メールをお待ちしております。** ～

難聴に関すること、補聴器に関すること、毎日の授業についてお気軽にご相談ください。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)

〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3-127

TEL: 018-889-8572 FAX: 018-889-8575

